

公式戦における投球数ガイドライン

投手の投球過多による肩及び肘の投球障害は、投球数のみが要因ではなく、誤ったフォームによる1球の投球でも発生することは医学界では確認されています。

しかしながら当連盟では、予防の第一段階として、投球数ガイドラインを設けております。

このガイドラインは提言といった形で、特に罰則規定をありません。

～投球数ガイドライン～

- ① 先発1戦目は投球数制限をしない。
- ② 2戦目は前日121球以上投げた場合は、翌日50球までとする。

但し投球中に50球を超えた場合はイニング終了まで可とする。
- ③ 1戦目で120球以下の場合は連投を妨げない。
- ④ 雨天で1日あけた場合は、制限を設けない。